

インターネットからでも募金できます！

インターネット募金専用ページ

三重県に寄付ができる専用ページを設けています。右の二次元コードを読み取っていただくと、専用ページにつながり、募金先を県内29市町から指定することができます。

募金支払方法

クレジットカード、PayPay、コンビニ決済、ペイジー（インターネットバンキング、ATM）、携帯決済、口座振替に対応しています。

募金はこちらから！



共同募金のあれこれ

Q1 共同募金は何のためにあるの？

共同募金は、当初は戦後の福祉施設を中心に資金支援する活動としての機能を果たしてきました。その後も民間の社会福祉事業の推進のために活用されてきました。現在では、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援するしくみとして、住民主体の運動を進めています。

Q2 共同募金は何に使われているの？

共同募金の80%は、募金をいただいた各市町で使われています。残りの20%は、市町を超えた広域的な活動のために、三重県内で使われています。また、募金の一部は災害等準備金として、災害時に設置される災害ボランティアセンターへの支援に使われています。

Q3 共同募金は強制ですか？

強制ではなく任意の募金です。ただし、「どれくらい協力したらいいですか？」というご質問をいただくことがありますので、目安額をお示ししている地域もあります。あくまで目安ですので、ご協力いただける範囲でお願いします。

共同募金への寄付は、税制上の優遇措置を受けることができます

詳しくはこちら！



個人として寄付をいただく場合

確定申告をすることによって、所得税（国税）の寄付金控除対象となる上、さらに個人住民税（地方税）の寄付金控除対象となる場合もあります。

◆所得税(国税)の控除 ▶▶▶▶▶▶▶▶ **税額控除方式、所得控除方式**のどちらかを寄付者が選択できます。

◆個人住民税(地方税)の控除 ▶▶▶▶▶▶▶▶ 地方税である個人住民税は、国税である所得税の場合とは異なり、寄付先の共同募金会が所在する都道府県内に住所があることが必要となります。

法人として寄付をいただく場合

運動期間中は、法人税法上の指定寄付金に位置付けられています。特定公益増進法人である社会福祉法人に直接寄付する場合に比べ格段の優遇措置が設けられており、寄付金は全額損金算入することができます。

回覧

八十年

ありがとう。
これからも一緒に。



どんな時代にも、そこには支える人たちがいました。
赤い羽根は、支える人たちを応援し続けて80年。
今日も、この街のどこかで、支え合いを未来へとつないでいます。

支える人も支える募金

赤い羽根共同募金



いつも赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございます。

皆様からお寄せいただいた募金は、県内の地域福祉のために役立てられています。誰もが住み慣れたまちで安心して暮らすことができる地域社会づくりのため、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人 三重県共同募金会

共同募金の運動期間

令和8年10月1日～令和9年3月31日



令和8年度 三重の赤い羽根共同募金バッジデザイン

三重の赤い羽根賞 松阪市立嬉野中学校 1年生 石倉 杏菜 さん

お問合せ先

社会福祉法人 三重県共同募金会（またはお近くの市町共同募金委員会）
〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館2F
TEL 059-226-2605 FAX 059-221-0044
✉ miekyoubou@miewel.or.jp

三重県共同募金会 検索

赤い羽根共同募金は、「あなたの町」で役立てられています。

一般募金 (令和7年度実施事業)

社会福祉協議会

30団体

県内の各社会福祉協議会において、様々な地域福祉活動を行いました。



社会福祉法人 桑名市社会福祉協議会
(事業名:地域助け合い推進事業)

サッカーチームのヴィアティン三重と協働し、若い世代に「じぶんの町をよくするしくみ。= 赤い羽根共同募金」について知ってもらうことを目的に、サッカー教室と併せて「O×クイズ」等を行い、赤い羽根共同募金について楽しく学びました。赤い羽根共同募金の目的と重要性を子どもたちや保護者の方々に伝えることで地域福祉への関心を高め、持続可能な支え合いのカタチについて考えてもらうきっかけとすることができました。



社会福祉法人 鳥羽市社会福祉協議会
(事業名:ふれあいいきいきサロン事業)

高齢者が気軽に集まり、レクリエーション等を通じて、仲間づくりや外出の企画を作り出すことで、孤独防止・生きがいの創出などを目的とした「高齢者サロン」を開催しました。また、家庭で子育てを行う保護者が孤立し、育児に不安やストレスを抱える等の課題がある中、地域を拠点に子育ての当事者と地域住民が多様な活動を通じて、子育てを楽しみながら仲間を作り、互いに支え合うことを目的とした「子育てサロン」等を開催しました。



社会福祉法人 菰野町社会福祉協議会
(事業名:安全安心対策事業)

災害ボランティアセンター設置運営訓練を行いました。参加者は、被災時の支援内容と復興に向けた行政や社協、ボランティアの活動内容を学ぶとともに、災害ボランティアセンターの運営や災害時のトイレの使い方のロールプレイングを行いました。参加者からは「災害の知識が深まった」「非常に有意義だった」「定期的に実施してほしい」というコメントがあり、地域の防災教育、災害ボランティアセンターの周知において大変有益なものとなりました。



社会福祉法人 御浜町社会福祉協議会
(事業名:知的障がい者社会参加促進事業)

御浜町・紀宝町・熊野市の3社協が合同で実施する「生活交流会」では、レクリエーション等を通じ知的障がい児・者や家族間の交流・社会参加を支援しています。また、町独自の「フレンドの会」では、参加者がボランティアと共に障がいのある方が自ら旅行等の年間計画を立てることで、自立促進と生活範囲の拡大を図っています。これらの活動は、楽しみながら生活意欲の向上や社会参加を促進する貴重な機会となりました。



団体

6団体

三重県内で福祉活動や事業を行いました。



三重県重症ケア家族会 S M I L E
(ピアサポート交流会)

医療的ケア児の家族を対象とした交流会を3回(うち研修会1回)開催しました。参加者同士が経験や悩みを共有し、施設関係者や臨床心理士など専門家の助言を交えながら理解を深めました。研修会では東京都杉並区のNPO法人みかんぐみの協力により、専門的な知識を学ぶ機会となりました。障がいのある子どもを育てる家族の孤立や不安に寄り添い、交流を通じて安心感や前向きな気持ち、未来への希望を持てるようサポートすることができました。



Light It Up Blue みえ実行委員会
(事業名:ブルーライトアップ トークセッション)

三重県の自閉症児・者への理解を深めるために、国連が制定した世界自閉症啓発デー(4月2日)に三重県内のランドマーク(津城・伊賀上野城・亀山城多聞櫓・桑名蟠龍櫓・玉城町田丸城)を癒しの色ブルー(自閉症のシンボルカラー)にライトアップしました。また、兵庫教育大学の小川修史教授をお招きし『斜め135°で自閉症・発達障害を考えよう』と題し講演会を開催し、参加した皆さまの活発な意見もいただくことができました。



地域歳末たすけあい募金

(令和7年度実施事業)

13市町

各市町において年末・年始の福祉活動を行いました。



社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会
(事業名:子どもの居場所交流)

子どもたちと旧松阪管内で活動されている機関やボランティア団体との交流を目的に当事業を実施しました。事業の一環として、地域の管理栄養士を講師に迎え、小学生と就労継続支援B型事業所「えみわーく」の利用者さんが一緒におせちづくりに挑戦しました。おせちづくりに使用した材料費に共同募金を活用しました。子どもたちと地域の団体会い、学び合う貴重な機会となりました。



社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会
(事業名:世代間交流事業)

少子高齢化や人口減少などにより、地域で人と人が顔を合わせ、交流する機会が少なくなっていることから、誰もが安心して新年を迎えられる温かく支え合える地域づくりを目的に、年末年始に身近な地域で子どもから高齢者までが参加できる多世代交流イベントを実施しました。世代を超えたふれあいや相互理解を深めることで、地域住民同士のつながりや支え合いの意識が育まれ、見守りや助け合いにつながる関係づくりに寄与することができました。



令和7年度募金配分状況のご報告

募金実績額 267,443,749円

◎ 配分(助成)額 282,717,535円

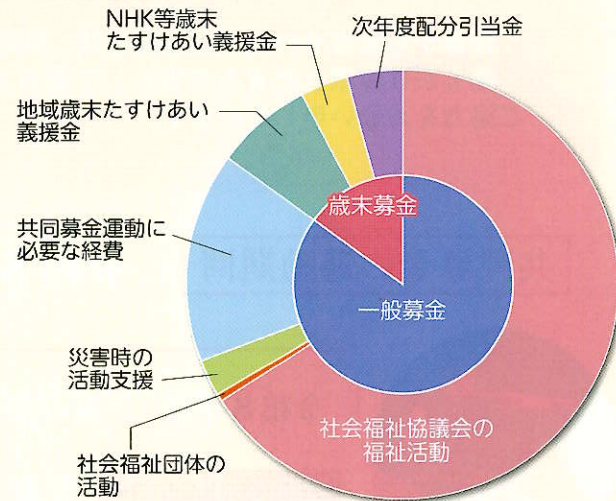
※災害等準備金取崩金・過年度配戻入金含む

- 社会福祉協議会の福祉活動に 186,125,936円
- 社会福祉団体の活動に 1,771,000円
- 災害時の活動支援に 7,800,000円
- 共同募金運動に必要な経費に 44,670,000円
- 地域歳末たすけあい義援金に 20,926,021円
- NHK等歳末たすけあい義援金に 9,801,884円
- 次年度配分引当金 11,622,694円

(NHK等歳末たすけあい義援金)に

一般募金実績計 235,573,815円

- 戸別募金 76.33%
- 街頭募金 1.63%
- 法人募金 9.60%
- 学校募金 1.08%
- 職域募金 4.53%
- イベント募金 1.11%
- 個人募金 4.47%
- その他 1.25%

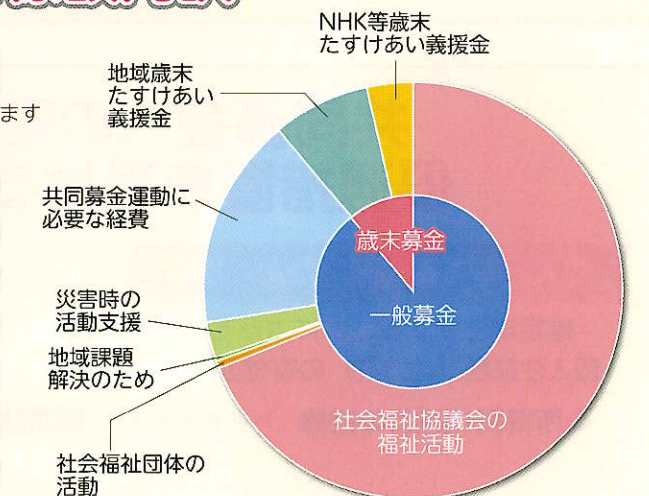


令和8年度目標額内訳

令和8年度の目標額 272,280,000円

※令和8年度の歳末事業と令和9年度に実施される事業の助成に充当します

- 社会福祉協議会の福祉活動に 187,904,764円
- 社会福祉団体の活動に 1,925,100円
- 地域課題解決のために 300,000円
- 災害時の活動支援に 7,930,000円
- 共同募金運動に必要な経費に 44,670,000円
- 地域歳末たすけあい義援金に 20,366,000円
- NHK等歳末たすけあい義援金に 9,184,136円



災害復旧支援に災害等準備金を拠出

災害時に災害等準備金を拠出して、被災地の災害ボランティアセンターの活動費に充てられます。

※募金実績額の3%を上限に災害時の活動支援金として積立しています。

過去の災害等準備金の拠出状況(過去5年間)

令和7年度に拠出

- 令和6年能登半島地震(石川県)追加拠出
- 令和7年四日市市大雨災害(三重県)

令和5年度に拠出

- 令和6年能登半島地震(石川県)

